# 九州北部地方 3 か月予報の解説

(8~10月)

令和7年7月22日14時発表 福岡管区気象台予報課

### 3か月予報のポイントと留意点(8~10月)



### 予報のポイント

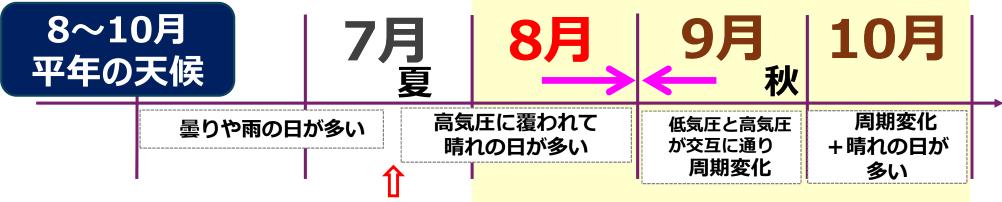
向こう3か月の**気温**は、**暖かい空気に覆われやすい**ため、高いでしょう。

### 留意していただきたいこと

- 暖かい空気に覆われやすく、**高温**が見込まれます。夏から 秋への季節進行が遅いため、**残暑は厳しく、秋の訪れ も遅い**でしょう。十分な**熱中症対策**を。
- → 9月以降、低気圧や前線、湿った空気の影響を受け やすい時期がある見込み。台風や秋雨の時期を迎え ることから、最新の気象情報に留意をお願いします。 7月に入って降水量がかなり少なくなっている所もあります。 農作物や水の管理に注意してください。

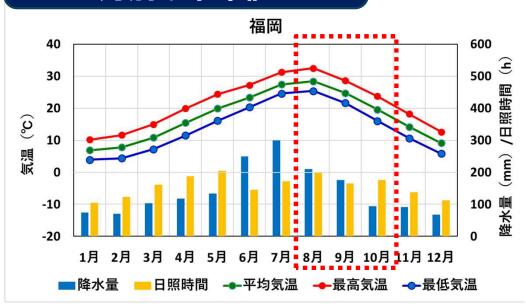
## 8~10月の九州北部地方の平年の天候経過





# 気温・降水量・日照時間の 月別の平年値

梅雨明け 平年7/19頃



#### 九州北部地方の天候の特徴

https://www.data.jma.go.jp/cpd/j\_climate/kyuhoku/main.html

### 8~10月のポイント

・台風の発生数が多い

(平年の接近数は2.6個)

#### 表 台風の発生及び上陸数(平年値)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
日本上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0
九州北部地方 接近数				0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4			3.8

#### 台風の統計資料

https://www.data.jma.go.jp/yoho/typhoon/statistics/index.html

### 向こう3か月の天候の見通し(8~10月)



### 予報のポイント

向こう3か月の**気温**は、**暖かい空気に覆われやすい**ため、**高い**でしょう。

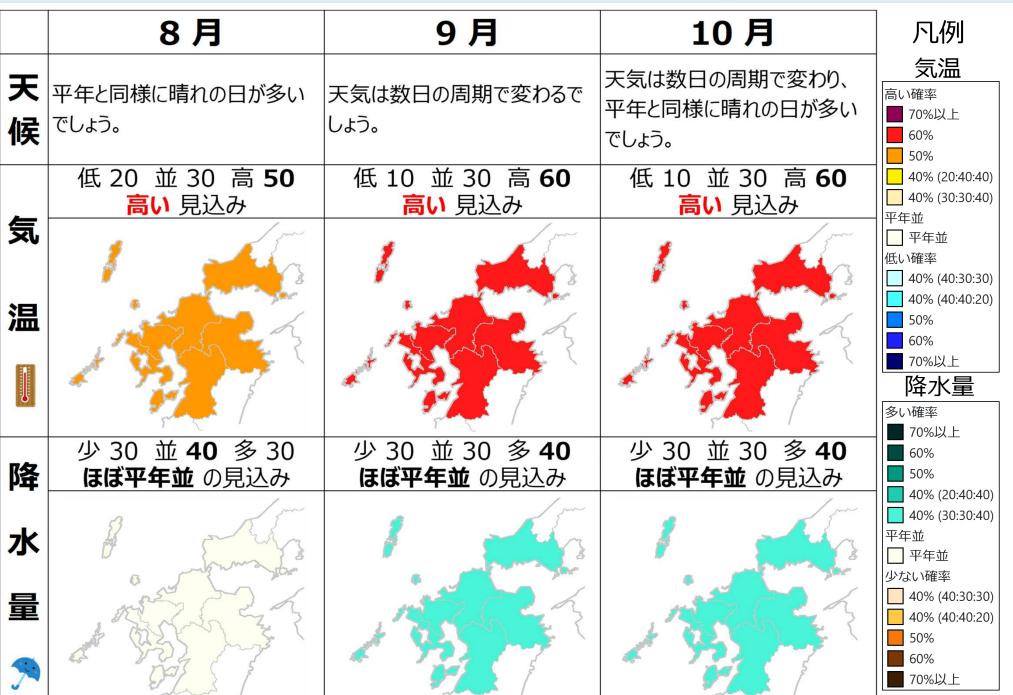
### 3か月(7~9月)の平均気温・降水量

平均気温(3か月) 降水量(3か月) 8 ~ 10 月 ~ 10 月 九州北部地方 低 10 並 20 高 70 少 30 並 30 多 40 (山口県を含む) 高い 見込み ほぼ平年並 の見込み 多い確率 高い確率 70%以上 70%以上 60% 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 40% (30:30:40) 数値は予想される 平年並 出現確率です 平年並 平年並 少ない確率 低い確率 40% (40:30:30) 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 40% (40:40:20) 50% 50% 60% 60% 70%以上 70%以上

4

### 向こう3か月の天候の見通し (月別)



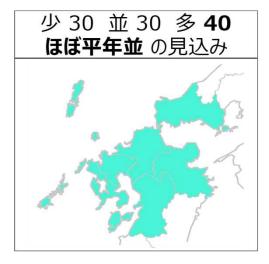


### 前回予報との変更点



8月の 降水量

#### 前回



湿った空気の影響を 受ける傾向がやや 弱まったため

少雨側へ変更



少 30 並 **40** 多 30 **ほぼ平年並** の見込み



9月の 気温



偏西風が**北寄り**に 流れる傾向が**強まり**、 **暖かい空気に覆わ** れやすい傾向も強 **まった**ため

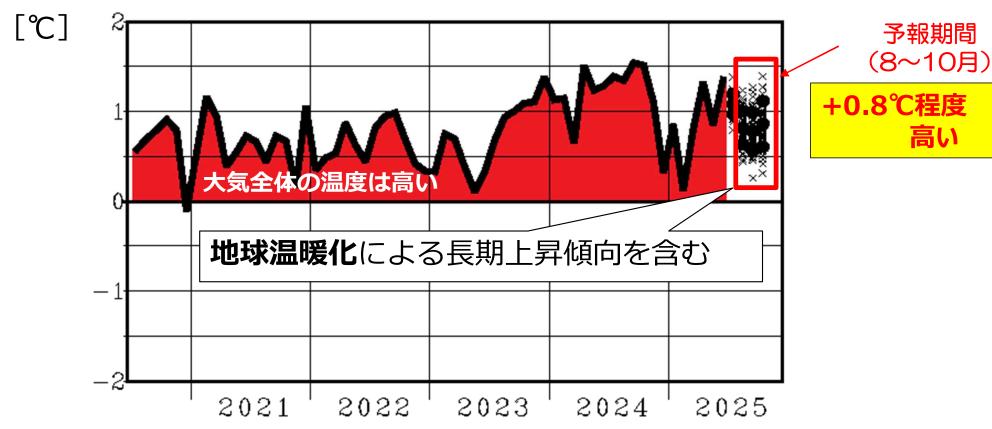
高温側へ変更



## 今回の予報の根拠① 大気全体の気温が高い



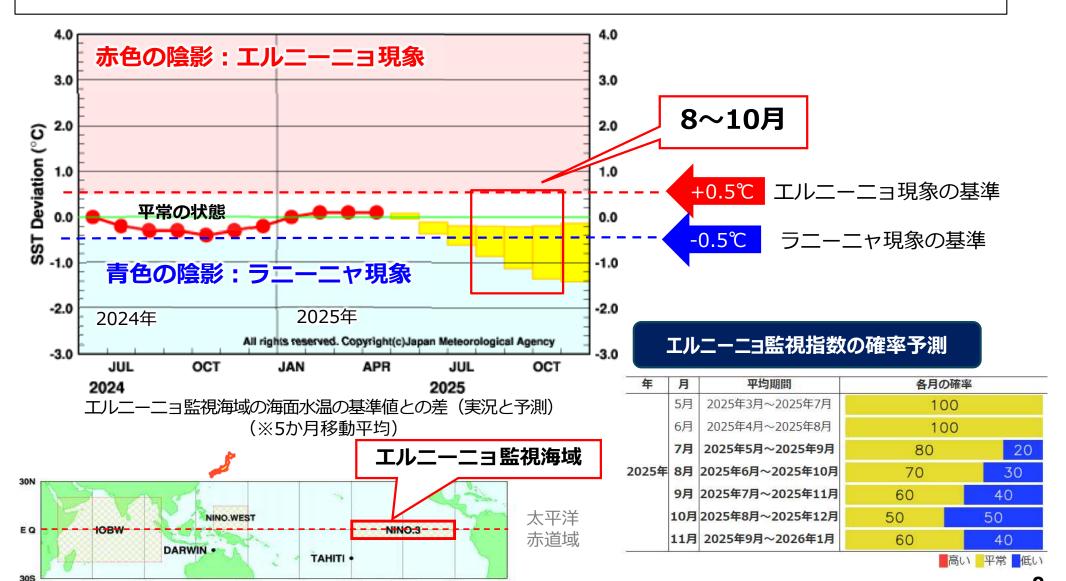
# 大気全体の温度が**平年より高く**、 北半球中緯度でも<mark>高い状態が継続</mark>



北半球中緯度(北緯30~50度) 対流圏(高さ約1500~10000m)の温度の平年からの差 実線は実況、ボックス部分は数値予報による予測

# 今回の予報の根拠② エルニーニョ・ラニーニャ現象

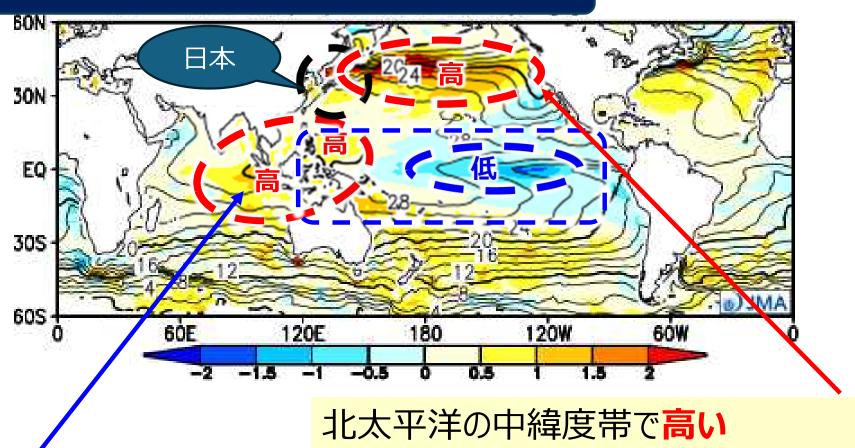
- C CONTROL OF THE CONT
- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態。
- 今後、秋にはラニーニャ現象が発生する可能性もある(40%)が、平常の状態が続く可能性の方がより高い(60%)。



# 今回の予報の根拠③海面水温の実況と予測



### 3か月(8~10月)の海面水温(予測)

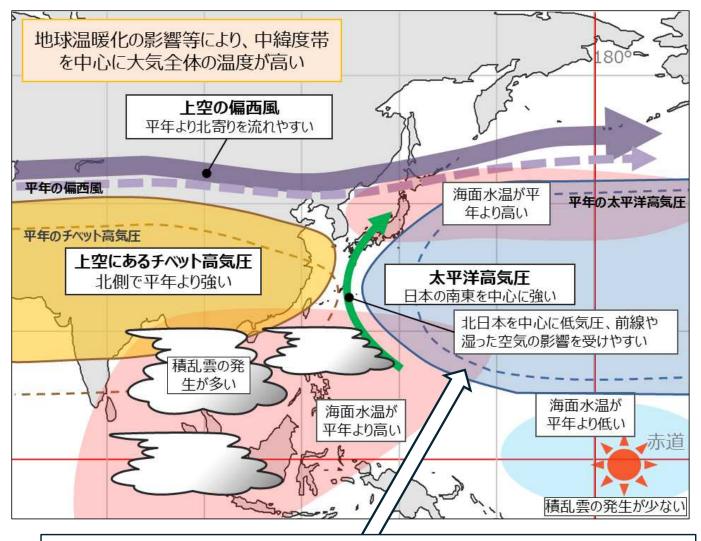


インド洋東部〜フィリピンの東で高く、太平洋赤道域中部で低い ラニーニャ現象に近い海面水温分布

→チベット高気圧の北側への張り出しの強さ、 太平洋高気圧の日本の南東への張り出しの強さに寄与

### 8~10月の予想される海洋と大気の特徴





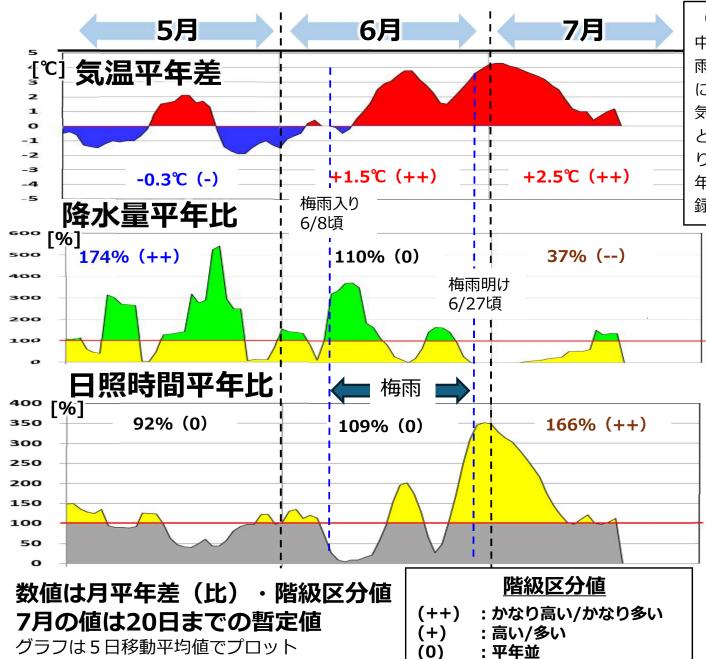
太平洋高気圧の東への後退が遅く、

夏から秋への季節進行が遅い。秋の訪れも遅い。

- ・地球温暖化の影響等により、 中緯度帯を中心に大気の温度 が**高い**。
- ・上空の偏西風は、平年より北寄りの位置を流れやすい(北太平洋の中緯度帯で海面水温が高いことが、偏西風が北寄りに流れやすい)。
- ・チベット高気圧は、北側 で平年より強い。
- ・太平洋高気圧は、日本の南東を中心に強い。
- ・日本付近は、暖かい空気に覆われやすい。
- ・低気圧や前線、湿った 空気の影響を受けやす い時期がある。

### 九州北部地方の天候経過(5~7月)





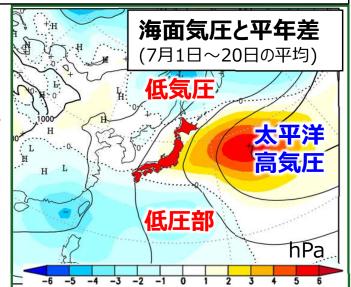
**(-)** 

: 低い/少ない

: かなり低い/かなり少ない

#### (7月の天気概況)

中旬は熱帯低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、上旬を中心に太平洋高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かった。気温は、上旬を中心に暖かい空気に覆われたことや強い日射の影響もあって平年を大きく上回り、上旬の九州北部地方の地域平均気温は1946年の統計開始以来、旬として1位を更新する記録的な高温となった。



日本の東海上で太平洋高気圧が強く、北日本から日本海にかけて張り出した。梅雨前線は不明瞭だった。一方、日本の南は低圧部となり、その中で台風や熱帯低気圧が発生した。このため、北日本、東・西日本日本海側では晴れの日が多かったが、湿った空気が流れ込んで大雨となった所もあった。

### 3か月予報のまとめ(九州北部地方8~10月)



### 予報のポイント

向こう3か月の**気温は、暖かい空気に覆われやすい**ため、高いでしょう。

### 留意していただきたいこと

- 暖かい空気に覆われやすく、高温が見込まれます。夏から秋への季節 進行が遅いため、残暑は厳しく、秋の訪れも遅いでしょう。十分 な熱中症対策を。
- 今 9月以降、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期がある見込み。台風や秋雨の時期を迎えることから、最新の気象情報に留意をお願いします。

7月に入って降水量がかなり少なくなっている所もあります。農作物や水の管理に注意してください。

#### 次回の3か月予報(9~11月)の発表日は、8月19日(火)です

\*原則として毎月19~25日の間の火曜日が発表日です

季節予報に関するお問い合わせ先

福岡管区気象台予報課(092-725-3604)